



続き、区役所が販売して魅力あるものができるということを発信していきたい。また、町内会などで景品等を配る際に、タッチくんグッズを使いたいということで購入される方がいらっしゃる。

根本地域振興課長：インバウンド推進事業に関して、6月15日にセーフコミュニティの審査員2名に対して本郷ふじやま公園を案内した。続いて、9月1日には、水道局にきたアフリカからの研修生7名に対し、栄公会堂ほかで書道体験を案内した。さらに、2月6日には、区内在住の外国人9名に寿司づくり・苔玉づくり体験をしてもらい、2月27日には、区内在住の外国人10名に上郷小学校での給食体験、本郷ふじやま公園での弓道体験を案内した。

また、今年度は、本郷ふじやま公園で水道局にきたアフリカからの研修生6名に対し、華道・書道体験を案内した。

大桑議員：次に、EPDSスクリーニングについて、30年度は実施していたが、元年度は別の事業に吸収されてしまっているのか。また、30年度の52件について、実施後にどうつながっていったか教えてほしい。

佐藤こども家庭支援課長：

EPDSスクリーニングは、栄区で先行して実施していたが、29年6月から局がこの事業の一部を産婦健診という形で取り入れたことにより、30年度の決算額が減少している。また、EPDSスクリーニングは、児童虐待の防止や妊産婦の心の健康につながっており、今後も医療機関と連携し、様々な相談に対応していきたい。

大桑議員：お祝いメッセージマイルプレゼントで、出産した記念にハンカチを渡しており、元年度から結婚した方にも渡すということだが、これは同じハンカチを渡しているのか。また、どういう反応があるのか。

伊藤戸籍課長：婚姻届を出された方には、福祉施設でつくられているお祝い箸のペアのセットとお祝いメッセージカードのセットを渡している。また、出生届を出された方には、今年度からガーゼのハンカチとお尻拭きのセットを渡しているが、実用的であり、大変喜ばれている。

大桑議員：ここからは意見だが、去年はセーフコミュニティの再認証とい

うことで皆さんご苦勞され、再々認証されるために元年度も様々な会議や対策が続いていくと思うが、引き続きよろしくお願ひしたい。また、横浜環状南線の整備や本郷台駅前の再整備、栄区プラン改定事業など、様々なまちづくり事業が動いていくと思うが、引き続き情報提供をお願ひしたい。

興石議員：新しい区長らしさについて教えてほしい。

星崎区長：30年度決算は前年度の振り返りであり、元年度予算も昨年度編成し執行しているので、基本的には既に議決いただいている予算を無駄なく、区民の皆様のために全力を挙げて執行していきたい。執行に当たっては、効果やデータに基づく根拠があるのか等、また、区民の要望をしっかりと受けとめ、その要望に合うよう工夫して執行していく。また、「現場主義」を徹底し、生のご意見を伺い、区政に反映していけるように努めていきたい。

興石議員：事業を執行する中で、横浜市全体のオープンデータ活用等、データに基づく動きというのは横浜に限らずこれから増々進んでいくと思う。セーフコミュニティが栄区の個性として、予算規模も大きく、今後も目玉になっていくと思うが、セーフコミュニティの認証を取る前から使われている関連予算の提出を先日お願ひしている。既存の安全・安心まちづくり事業や、子育てに関する防災力向上事業などがある中で、セーフコミュニティをかぶせて事業を別立てで行っているが、考え方が重複するものが多いと思う。セーフコミュニティの認証について、30年度実績や元年度のこれまでの実施内容を見て、何か感じていることがあれば教えてほしい。

星崎区長：栄区がセーフコミュニティに取り組んでいることは、着任前から知っていた。住宅区として外にアピールしていく際、国際認証を取っているということは非常に価値のあることだと思っている。また、区として第一に取り組まなくてはならない児童虐待や自殺予防、交通安全、振り込め詐欺予防等、区民の皆様の安全・安心にかかわる事業を、セーフコミュニティの中で区民の皆様と一緒に取り組んでおり、良い取組だと思っている。執行については効率的に、PDCAを回すことがこの取組の特徴であり、セーフコミュニティを中心に、全ての事業に対してしっかりとデータに基づく必要性の確認や効果検証を行い、区政運営の方向性を区

民の皆様とご一緒に考えていきたい。

興石議員：セーフコミュニティの認証取得は、区民の皆様の努力の上になり立っている。データに基づいて分析し、事業効果や必要性を確認し、それを継続していくという発想がなければ、認証を取ってまで取組を進めていこうとは思わないと思う。その意味でも、これだけ一千数百万円以上かける事業であるということの意義がさらに見えてきてもいいのかなと感じている。データ分析の機能を意識して、取り組んでいただきたい。

決算について、さかえ・森の魅力づくり推進事業で、安心・安全なハイキングコースとするため天園の案内看板を設置した件で、現状はこれで完了している状況か。

永松区政推進課長：魅力発信としては看板設置で一旦終了となっている。

興石議員：ペット防災対策事業と動物適正飼育推進事業に関連し、「動物適正飼育推進員」という制度が横浜市にあるが、栄区では1名しかいない。地域防災拠点でのペットの同行避難訓練が、その一人の方がいらっしゃるところではとてもスムーズにできている。以前に推進員の拡大について提案したが、反映されているか。

古厩生活衛生課長：人材発掘という点では難しく、適性のある人材が見つかった場合は勧誘していくが、推進員としてふさわしいと考える方が見つからないというのが実情である。

興石議員：「動物適正飼育推進員」に向いている人について、どのような基準があるのか。

古厩生活衛生課長：行政の動物愛護・管理に関する基本的な考え方に沿っていただける方と考えている。動物のことに関しては、考え方が異なる方も多い。

興石議員：横浜市の考え方をクリアにしたうえで、推進員になっていただくというのが理想だと思うので、健康福祉局と連携して広げていくといい。横浜市としての方向性や考え方を、推進員の資格がある方が示すことで、発言に説得力が出てくるので、一定数の推進員がいたほうがスムーズにできるのではないかと思う。次に、食品衛生普及啓発事業に関連して、このような事業を行う際、食品衛生協会や飲食業同業組合などの力を借りてやっているか。

古厩生活衛生課長：以前は力をお借りしてやっていたこともあるが、今は

食品衛生協会も飲食業同業組合も会員数が減少しており、また、会員の高齢化が進んでいる状況で、何か委託することは現状では難しい。しかし、毎年、食品衛生協会と一緒に食中毒予防キャンペーンを実施しており、区民まつりでもブースを設けて啓発活動を行っている。

興石議員：飲食業同業組合では、会員数の減少が課題となっている。会員数が減ることで事業展開にも弊害が起こるため、会員数を増やしたほうが良いという考えを行政側も持っていていただいているかどうか確認したかった。例えば、新しく開店するときは許認可の関係で必ず役所の窓口にくる際に、飲食業同業組合の取組内容や加入することによるメリットについてぜひ案内してほしい。組合員数を増やすため、パンフレットを預かって窓口で渡すというようなことはやっていないのか。

古厩生活衛生課長：パンフレット等は窓口で配架している。しかし、新規開店されるお店はチェーン店が多く、チェーン店さんは組合に加入していただくのが難しいという現状がある。

興石議員：チェーン店に入ってもらえるように促すと、個人の店とも顔の見える関係でやっていただけなのではないか。

次に、栄区民ロードレース大会について、30年度は野七里の埋蔵文化財センターを拠点に開催されたが、元年度のコースはどこか。

根本地域振興課長：30年度と同様に埋蔵文化財センターをスタート・ゴールにし、小・中・一般というコースを設ける。

興石議員：野七里の山は「野七里テラス」がオープンするなど、10月末にまちづくりの新しい取り組みがスタートすると聞いているので、コラボで何かできるといいと思う。

根本地域振興課長：来年に向けてコース設定等を進めている。「野七里テラス」の話も含め一緒に進めていきたい。

興石議員：「区自立支援協との連携」というのは、パンフレットをつくったというものか。

角田高齢・障害支援課長：

「来て 見て さかえ」という紹介のパンフレットを作成した。

興石議員：明るい選挙啓発事業について、高校生向けの啓発チラシは栄区独自のものか。

井上総務課長：栄区独自で作成した。

輿石議員：他の区も同じようなものをつくっているのか。

井上総務課長：高校生向けのチラシかどうかは把握していないが作成している。

見上副区長：区によって状況は違い、特に県立高校においては3年に1回、県の選挙管理委員会で模擬投票を行っている。参議院選挙に合わせて6月に実際の候補者で実施するため、必ず1年生から3年生の間に1回は模擬投票を受けることができる。このような取組を県が行っているため、それに合わせた取組を行い、投票率の向上を図っていきたい。

輿石議員：この取組により選挙の投票率のアップや選挙に対する関心が高まることで、栄区の魅力向上につながるという。

長谷川座長：続いて、令和元年度執行状況についての質疑に入らせていただく。

大桑議員：蚊の発生源対策の事業評価のため、住民アンケートをモデル町内会で実施している件で、この取組は区民からの要望を受けて始まったのか、それとも、感染症の流行を未然に防ぐために始めたのか、広がり状況も含めて教えてほしい。

古厩生活衛生課長：何年前かにデング熱、ジカ熱といった感染症の発生在国内で見られたということがあり、その当時、非常に多くの自治会町内会から相談をいただいていた。また、今年度にラグビーワールドカップ、来年にはオリンピック・パラリンピックが開催されることで、海外から多くの訪日客が見込まれることから、発生源対策が必要と考え、事業を企画した。この事業は30年度から始めており、5つの自治会町内会に応募いただいたが、今年度は4つの自治会町内会からの応募となっている。

大桑議員：今後、区ではこういう事業があると区民へ伝えても問題ないということで理解した。

もう一点、さかえの野菜めしあがれ！に関連する区配事業で、身近に農を感じる地産地消の推進事業とあるが、この予算と合わせて実施しているのか、あるいは、一部を充当しているという意味か。

林福祉保健課長：この区配事業については、「さかえの野菜めしあがれ！」という冊子の増刷のため、区の予算と合わせて執行している。

大桑議員：配布や食生活等改善推進員と連携したイベントなどは区の予算で執行し、区配予算は印刷の予算ということか。

林福祉保健課長：そのとおり。

輿石議員：青少年指導員協議会の活動事業について、30年度は安全・安心まちづくり推進事業に入っているが、元年度はどうなっているか。

井上総務課長：元年度の自主企画事業費としての算定の中には、この青少年指導員連絡協議会活動事業は含まれていない。こちらは、統合事業として、自主企画事業から別枠にしている。

輿石議員：元年度からそのようになったのか。

井上総務課長：資料 34 ページをご覧ください。こちらが元年度の栄区予算の全体で、30年度までは、2の内訳（1）自主企画事業費に含まれていたが、元年度からは、（2）統合事務事業費の内訳の統合事業費の中に含まれている。元年度からは、青少年指導員連絡協議会活動事業を含む幾つかの事業が統合事業費に自主企画事業費から振りかえられている。

輿石議員：30年度までは統合事業費というのはなかったということか。

井上総務課長：そのとおり。統合事務費はあったが、統合事業費は元年度に新規に創設されたもの。

見上副区長：今年度予算立てする際、自主企画事業費の自由度を上げるため、18区で同じように実施している事業については、合計して局が配付するよう整理された。青少年指導員に関する予算は、基本的にはユニフォーム購入費など18区で共通している。統合事業費については、18区で共通して執行している費用を市民局と共に整理し、栄区では合計1,521万3,000円となっている。

井上総務課長：今年度から統合事業費に計上されているのは、前年度まで自主企画事業に含まれていた9つの事業となっている。

輿石議員：その9つの事業というのは、どこかを見ればわかるようになっているのか。

輿石議員：この青少年指導員協議会の活動は安全・安心の中の何なのかと知っているのだが、青少年の健全育成や子育て、人材育成などのジャンルに入るのか、どういう性質なのかを改めて考える必要がある。体験活動とか地域イベントの活性化のために地域の人材としての指導員がいて、その先に青少年がいるので、本来なら個性

を發揮してもらってもいい方たちだと思う。栄区は高齢者のまちというイメージが強いかもしれないが、子育てや青少年に対する活動というのも、ロードレースやヤングフェスティバルなどがあり、見えづらくはなっているが予算額も気になる。補助金の過去10年くらいの推移もできれば見てみたいと思っているが、そういう資料というのはいただけるか。

井上総務課長：令和元年度の統合事業と青少年指導員関係の補助金の推移については資料としてお渡しできる。

興石議員：自由度の少ない事業という扱いになってしまうのであれば残念な側面もあるので、教えていただきたい。

次に、郊外住宅地の持続可能なまちづくりの推進について、地域の路線バスの利用促進等、地域交通に関して道路局のどの部署と連携するのか。

永松区政推進課長：道路局企画課と調整させていただいている。

興石議員：道路局が今年度、地域交通の仕組みづくりに係る予算を多く計上し、例えば初度調弁費としてのマイクロバスの購入費などつけていきたいと思いますという思い切った事業を実施しているが、栄区ではまだ活用できていない。企画課というのはその地域交通、コミュニティバスを所管している部署か。

永松区政推進課長：そのとおり。補足させていただくと、地域交通サポート事業はリースなどで事業が増えているため、7月の区連会で事業説明を行い、ぜひご活用くださいという議案を提出させていただくとともに、各地区の皆様にも情報提供させていただいた。

興石議員：先日、旭区の四季めぐり号が運行停止後、再開したので、会長たちに会いに行ってきた。栄区にそのまま当てはめるということではないが、区で特色のあるより小さなエリアで始めていくほうが効率はいいという感触もあったので、地域の方にぜひ周知をしていただきたい。

永松区政推進課長：引き続き案内やサポートをしていきたい。

興石議員：水害ハザードマップの更新について、これは来年の3月に向けて更新中ということか。

井上総務課長：そのとおり。現在、道路局でデータを作成している。データ提供が年明けの予定となっており、元年度中には印刷したいと考えている。

興石議員：マップ作成のベースになる降雨量や地形などの基礎データは神奈川県を使うということか。

井上総務課長：横浜市内については、道路局が県の調査結果をもとに改めて調査をしている。それ以外の市境部分を表現しようとする、神奈川県の作成した浸水想定目安のデータをそのまま活用せざるを得ないということになる。

興石議員：浸水（内水・洪水）については26年のデータだが、これはまだ更新されないのか。

井上総務課長：今回更新する。

興石議員：栄区の場合、砂押川上に境界があるので、その境界の向こう側の川の遡上を無視した状態で作成しても、笠間エリアの生活圏の方にとって、このマップが本当に安心なものにはならないので、鎌倉市との連携をしっかりと進めてほしい。

井上総務課長：今回のデータは、境川水系といった水系別に県が想定見直しを行っている、その利用については、鎌倉市というよりは神奈川県の所管の判断になる。一方で、浸水想定における見直し以外の部分、例えば発災時の帰宅困難者対応など、鎌倉市の防災部門と連携し、年に何回かは意見交換会を開催している。

興石議員：水害にかかわらず、鎌倉市大船エリアは区民の生活エリアでもあり、どこに境があるかわからず暮らしている現状がある。マップ上に反映し、区民に分かりやすくすると、区の姿勢も伝わりやすい。3月まで時間があるので、調整していただきたい。

井上総務課長：局との連携も含めて調整させていただきたい。

興石議員：交通安全の啓発活動について、ルールが厳格化して保険に入らなければならないなど、自転車を取り巻く環境が変わってくる。今年度に特に自転車に対して強化している取組はあるのか。

根本地域振興課長：区として自転車に特化して元年度から始めた取組はない。神奈川県の条例により、保険に入らなければならなくなったこと、また、セーフコミュニティの交通安全では、お子様のヘルメットの着用率が高いという評価も得ていることは承知している。親子連れの方へのヘルメット着用の勧奨や、区内2店舗でヘルメットの割引販売をしているが、今年度の新規事業はない。

興石議員：以前から「自転車注意」という看板や路面標示をつけてほしいと要望し、既に数か所つけていただいている。細い道路上を通ら

なければいけないから、自転車に乗る人からすると怖い。ドライバーに、ここは自転車も通るということを認識してもらえりような道路標示を多めに設置してもらいたい。

長谷川座長：温暖化対策事業について、太陽光発電の設備改修というものがあるが、これは継続して設置するものと考えられるが、設備はどれくらいの耐久年数があつて、今後どのあたりでどんな改修が見込まれるのか、また、事前に予測がつくのか。

井上総務課長：今回の改修については、栄区庁舎本館の屋上部分に平成17年に設置した太陽光発電設備が機器の故障で使用不能となつていたため、改修して使えるようにした。設置から10年経つた平成27年に機器の故障で使用不能になつていたものとなる。耐用年数は、当初設置した際も恐らく10年よりは長く設定されていたと思うが、実際には10年ぐらいで故障してしまつた。

長谷川座長：続いて、昨年度も行われた再チャレンジ応援事業について、今年度も何回か実施しているが、実際に就労した方は何人ぐらいいるのか。

村山生活支援課長：今年度の実績は、第1回は高校生を中心に、将来の進路やキャリアを高校生のうちから考えていただくということで、男性7名、女性2名の計9名に参加いただいた。2回目以降は、高齢者向けや栄区内にある無料低額宿泊施設に入っている方への就労セミナーを全6回予定している。実績については、高校生ということもあり現時点ではない。30年度の実績は、延べ30名がこのセミナーに参加し、4名が就労した。

長谷川座長：栄区人材育成研修事業について、研修の外部講師にはどのような方を呼んだのか、また、どのような方を基準に呼び、どのような内容を話したのか伺いたい。

井上総務課長：接遇研修の外部講師は、接遇を専門に扱っている株式会社の方をお願いしている。

次に、チーム力アップ研修については、栄区内の複数の施設、例えば保育所や、高齢者の方の福祉施設、もしくは地域ケアプラザに、区の職員が伺つて体験をするようなことも含まれており、施設の職員に講師をお願いしている。

最後に、人権啓発研修については、庁内外問わず講師をお願いし、実施している。

	長谷川座長：ほかに発言がないようなら次の議題、令和2年度栄区予算編成の考え方について、区長よりご説明をお願いしたい。 (以下、省略)
備 考	